

NADPZ

APRIL NEWSLETTER



新メンバー紹介

私たちは2008年にプレシャスに初めて出会いました。彼女は私たちのプロジェクトサイトの隣にある地域学校の教師として赴任してきたのです。この学校は、ザンビアを何度も訪れこの地域と人々が大好きになったデンマークの家族によって設立されました。2019年、プレシャスは自然農法農家になることを決意しました。



青年スタッフ

プロジェクトサイトの青年スタッフを紹介しましょう。ジャスティン、モリスタ、ミリアム、レイモンド。皆さんがサイトを訪れたときには彼らが迎えてくれます。彼らの美しい笑顔、温かいエネルギー、そして献身在、この場所を作り上げているのです。プロジェクトサイトの世話をするだけでなく、彼・彼女ら自身が若い自然農法農家であり、家族の世話を手伝っています。



寮生のバスルーム

ペンバ小学校の寮が5月10日にオープンします。周辺の村から集まった10人の女の子と10人の男の子にとって初めての寮体験が始まります。PTAは、寮生のために2つのシャワーとトイレのユニットを完成させました。

菜園研修

毎年1月に協同組合の新たなメンバーが参加します。彼女らは生産に失敗したり、組合メンバーの成功を目撃したり、組合員間での援助システムにふれて、協同組合に参加します。4月に雨が止むと、ザンビア自然農法開発計画（NADPZ）は新メンバーに向けてのトレーニングクラスを開始します。

新たな参加者にはまず教室で自然農法の紹介をしますが、実際に畑に出て現場で体験することが大切だと感じています。今年は、ムババラ地区の4つの協同組合とチカンタ地区とペンバ地区からの参加も含め、20人の農民にトレーニングを行いました。女性たちはプロジェクトサイトで2日間キャンプし、それぞれの女性クラブに戻って、この研修で学んだことを他のメンバーと共有します。



ジャガイモ栽培

ザンビアには、夏季の栽培、11月に雨を待って植えるジャガイモ、2月に作付けして灌漑で育てるジャガイモという3つの主要なジャガイモ栽培シーズンがあります。

ザンビア自然農法開発計画（NADPZ）では毎年3月にジャガイモのトレーニングセッションを実施しています。興味のある会員や職業訓練校の研修生と一緒に灌漑ジャガイモを栽培しています。

今年は大工作業を学んでいる学生が率先してジャガイモを植えました。



大工作業クラスの進捗

大工作業の学生の最初のグループは現在1年間のトレーニングコースの途中です。現時点で、彼らはベッド、ソファ、椅子、キャビネットなど、さまざまな家具を作ることができるようになりました。

彼らの作品の一部をご覧ください。

きのこ栽培研修



今年の2月、2人の自然農業トレーナーが首都ルサカを訪れ、ルサカの小規模きのこ農家からきのこを育てる方法を学びました。

今年の4月、ンコシラチ・ルキカニ氏はプロジェクトサイトを訪れ、20人の農民と2人のデモ農民を対象とした2日間のトレーニングコースを開催しました。



ンコシラチは、収穫後乾燥したトウモロコシの茎を使用してボタタケとヒラタケを栽培する方法を農民達に教えました。

農民は研修の終わりにトレーニング終了書を受け取り、プロジェクトの新しいキノコデモ農民になり、他のメンバーは彼等からトレーニングを受けることができます。



水の重要性

農村地域では、家族は真水を得るためだけに長距離を移動する必要があります。存在する井戸と井戸は遠く離れており、多くのコミュニティでは小川や川の水をたよりにしています。

今月、ペンバ地区とムババラ地区にそれぞれ井戸を設置しました。ムババラ地区の井戸は職業訓練センターと農場に使用します。

水は地下80メートルで発見され、ハンドポンプが設置されると、この井戸は近くの村に住む何百人もの人々の生活用水となります。



学童のための水

2008年にペンバプロジェクトサイトに井戸を設置しましたが、岩が多い乾燥した地形のため、その井戸は常に給水に問題がありました。

ペンバのサイトに測量士を案内し、そこで新しい水源の可能性を見つけました。4月末に新しい井戸が設置され、60メートルのところに水が見つかりました。

この水は、子供たち、寮、教師に供給するだけでなく、近くのコミュニティに住む多くの家庭にも役立ちます。

